

令和4年度年間活動計画(案)

高槻出張所管内河川レンジャー

杉本 真一 (14期生:2年目)
竹本 克巳 (16期生:試行)
林 浩平 (16期生:試行)

河川レンジャーアドバイザー

原 健二

目次

高槻出張所管内河川レンジャー

杉本 真一	(14期生:2年目)	1
竹本 克巳	(16期生:試行)	5
林 浩平	(16期生:試行)	7

河川レンジャーアドバイザー

原 健二	9
------	-------	---

連携活動	10
------	-------	----

氏名	杉本 真一	区分	河川レンジャー（1期目）	所属	高槻出張所
----	-------	----	--------------	----	-------

1. 活動の目的・目標

1.1 活動の目的

【現状】～遊び方を知らない子どもたち～
 子どもの生活スタイルが多様化し、遊び方の変化や放課後の塾や習い事で多忙であること等から、川で遊んだことのある子どもが少なくなっている。また、学校では「川は危ない近づくな」という指導がされており、安全教育の必要性がある。
 一方、風水害をはじめとする自然災害は増加傾向にあり、住民の防災意識は高まっているが、学校現場における「防災教育」へのニーズが求められている。
 【目的】自然とふれあう機会が少ない子どもたちに、学校では経験のできない自然体験学習や防災学習を実施する。特に高槻市を南北に流れる芥川と淀川とのつながりを意識しながら、子どもの健全育成と河川への興味関心を深めていく。また、多くの世代へ淀川や芥川の魅力や現状を学び教え合う場を創出し、地域の防災や自然環境、歴史、文化などへの理解を深め、持続可能な「川づくりの担い手」を広げていくことを目指す。

1.2 活動の目標

段階	目標	活動内容	試行期間	1期		2期	
				1年目	2年目	3年目	4～RA
Step1 地域住民の関心を高める	【つながり】地域住民との関係づくり	①「高槻ジュニア河川レンジャー」の実施 ・川と自然とのかかわりを理解する体験学習プログラム ・参加者の募集や関係機関との調整 ②たかつき防災学習会 ・河川に関するテーマ（防災、環境、歴史観光等）を学ぶプログラム ※防災授業：小学校などでの出前授業	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
Step2 河川レンジャーと管理者が協働して取り組む	【ひろがり】河川レンジャー、河川管理者と地域団体との協働	①「高槻ジュニア河川レンジャー」の展開 ・他機関との協力体制を構築する ・参加者、サポートスタッフの育成		⇒	⇒	⇒	⇒
		②たかつき防災学習会の展開 ・地域団体等とプログラムの実施 ※防災授業：持続可能な活動に向けた教育委員会との協議		⇒	⇒	⇒	⇒
Step3 地域住民から行政へ発信する仕組みを構築	【ゆるやかな連携】地域団体が主体となる活動の支援	①「高槻ジュニア河川レンジャー」の展開 ・参加者が教え学び合う場づくりの支援 ②たかつき防災学習会 ・地域団体による防災学習会の支援 ・小学校等での防災出前授業（段階的学習）の確立、児童生徒が活動成果を発表する場の創出 ③鳥飼ワンド外来水草除去活動の実施 ・地域と協働した活動の支援			⇒	⇒	⇒

3. 総括

	内容
活動をしていく上での課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地域団体への参画呼びかけと調整 ・防災教育推進への働きかけ ・摂津市エリアでの活動
課題に対する取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・高槻市、高槻市市民公益活動サポートセンターとの連携 ・高槻市教育委員会との協議 ・摂津市環境政策課（芥川水辺の生き物観察会実施での関わり）への依頼し新たな団体や住民とつながりたい。

出張所	高槻	高槻	高槻	高槻
氏名	杉本 真一	杉本 真一	杉本 真一	杉本 真一
No.	1	2	3	4
活動名	高槻ジュニア河川レンジャー	高槻ジュニア河川レンジャー	水辺の生き物観察会	高槻ジュニア河川レンジャー
主たる活動分野	F川づくり・人づくり	F川づくり・人づくり	B環境保全	F川づくり・人づくり
活動目的 (1000字程度)	高槻市内を流れる淀川・芥川の魅力にふれながら、子どもたちが体験活動を通じ河川を知り、自然を守る「ジュニア河川レンジャー」として育成する。「自然観察」「川の安全」「防災」プログラムの充実を図る	高槻市内を流れる淀川・芥川の魅力にふれながら、子どもたちが体験活動を通じ河川を知り、自然を守る「ジュニア河川レンジャー」として育成する。「自然観察」「川の安全」「防災」プログラムの充実を図る	自然とのふれあいや環境への興味・関心を持つきっかけ作りの場として、環境に優しい行動を啓発、自然を大切に子どもたちの健やかな育成を図ることを目指す。	高槻市内を流れる淀川・芥川の魅力にふれながら、子どもたちが体験活動を通じ河川を知り、自然を守る「ジュニア河川レンジャー」として育成する。「自然観察」「川の安全」「防災」プログラムの充実を図る
活動内容 (1000字程度)	川の安全ウォーク(芥川)→川の特徴を知り安全な河川利用について学ぶ	川の安全ウォーク(芥川)→川の特徴を知り安全な河川利用について学ぶ	水辺の生き物観察会→地域を流れる淀川と芥川を考え、防災・自然環境・歴史などをテーマとした学習会等を実施する。	川遊び安全マップ作り(芥川・摂津峡)→川の特徴を知り安全な河川利用について学ぶ 等
運営形態	主催	主催	共催	主催
連携予定	市民団体等	NPO法人ノートなど	あくあびあ芥川	NPO法人ノートなど
	行政機関		摂津市(環境政策課)	
	学校関係			
活動予定月(日)	4月	6月	7月	8月
活動場所(市町村)	高槻市	高槻市	摂津市	高槻市
活動場所	芥川流域(市役所～城西橋～桜堤公園～摂津峡公園)	芥川流域(摂津峡公園～上の口バス停)	高槻市立自然博物館(あくあびあ芥川)	芥川流域(摂津峡北～芥川漁協)
参加対象者	地域の小学校3～6年生、地域の中学校高校の自然科学クラブなど	地域の小学校3～6年生、地域の中学校高校の自然科学クラブなど	摂津市小学校の児童及び保護者	
定員	15名	15名	2019年は25組(50名)	15名
年間スケジュール	4月	芥川安全ウォーク		
	5月			
	6月		摂津峡川の安全ウォーク	
	7月			芥川水辺の生き物観察会
	8月			川遊び安全マップ作り
	9月			
	10月			
	11月			
	12月			
	1月			
	2月			
	3月			
スタッフ(人数・役割)	講師(各回テーマに沿った学識経験者など) 協力スタッフ 5名程度(参加者の感染予防対策、安全確認、活動のサポート)	講師(各回テーマに沿った学識経験者など) 協力スタッフ 5名程度(参加者の感染予防対策、安全確認、活動のサポート)	講師(各回テーマに沿った学識経験者など) 協力スタッフ 5名程度(参加者の感染予防対策、安全確認、活動のサポート)	講師(各回テーマに沿った学識経験者など) 協力スタッフ 5名程度(参加者の感染予防対策、安全確認、活動のサポート)
広報・募集方法	SNSや広報などでの告知	SNSや広報などでの告知	SNSや摂津市広報などでの告知	SNSや広報などでの告知
支援要望事項	講師謝金、スタッフ経費(実費交通費等)、資料印刷、保険加入など	講師謝金、スタッフ経費(実費交通費等)、資料印刷、保険加入など	講師謝金、スタッフ経費(実費交通費等)、資料印刷、保険加入、観察会資料、ライフジャケット借用など	講師謝金、スタッフ経費(実費交通費等)、資料印刷、保険加入など
水害体験施設の要望				
安全対策	移動時における安全指導、感染予防対策の実施及び周知	移動時における安全指導、感染予防対策の実施及び周知	移動時における安全指導、活動エリアの上流及び下流にスタッフを配置(定点活動時)、感染予防対策の実施及び周知	移動時における安全指導、感染予防対策の実施及び周知
実施に向けて困っている事・課題				
その他			実施にあたっては6か月前に相談し実施に向け協力を依頼する	

出張所	高槻	高槻	高槻	高槻
氏名	杉本 真一	杉本 真一	杉本 真一	杉本 真一
No.	5	6	7	8
活動名	高槻ジュニア河川レンジャー	高槻ジュニア河川レンジャー	たかつき防災学習会	たかつき防災学習会
主たる活動分野	F川づくり・人づくり	F川づくり・人づくり	A治水・防災	A治水・防災
活動目的 (100字程度)	高槻市内を流れる淀川・芥川の魅力にふれながら、子どもたちが体験活動を通じ河川を知り、自然を守る「ジュニア河川レンジャー」として育成する。「自然観察」「川の安全」「防災」プログラムの充実を図る	高槻市内を流れる淀川・芥川の魅力にふれながら、子どもたちが体験活動を通じ河川を知り、自然を守る「ジュニア河川レンジャー」として育成する。「自然観察」「川の安全」「防災」プログラムの充実を図る	地域を流れる淀川と芥川を考え、防災・自然環境・歴史などをテーマとした学習会等を実施する。特に、小中学校等での防災教育（出前授業）に組み込み、防災意識の向上と「自分の命は自分で守る」ということを伝えていく。また、持続可能な防災教育の体系作りに向けた検討を行う。	地域を流れる淀川と芥川を考え、防災・自然環境・歴史などをテーマとした学習会等を実施する。特に、小中学校等での防災教育（出前授業）に組み込み、防災意識の向上と「自分の命は自分で守る」ということを伝えていく。また、持続可能な防災教育の体系作りに向けた検討を行う。
活動内容 (100字程度)	川遊び安全マップ作り（芥川・摂津峡）→川の特質を知り安全な河川利用について学ぶ 等	川の安全ウォーク（芥川）→川の特質を知り安全な河川利用について学ぶ	①防災講座：河川を知り防災についての知識の向上を図る。 ②市民団体向けの防災学習会を通じ団体間の「ゆるやかな連携」につなげていく。	防災教室（出前授業）河川を知り防災についての知識の向上を図る。
運営形態	主催	主催	共催	主催
連携予定	市民団体等	NPO法人ノートなど	高槻市市民公益活動サポートセンターなど	
	行政機関			高槻市教育委員会
	学校関係			高槻市立小中学校
活動予定月（日）	9月	10月	12月	1月
活動場所(市町村)	高槻市	高槻市	高槻市	高槻市
活動場所	芥川流域（芥川漁協～原大橋）	芥川流域（城西橋～芥川大橋～唐崎～高槻劬兀°ㄎ）	高槻市内	高槻市立小中学校及びその周辺
参加対象者		地域の小学校3～6年生、地域の中学校高校の自然科学クラブなど	市民団体	高槻市立小中学校の児童及び生徒
定員	15名	15名	10名	対象学年全クラス
年間スケジュール	4月			
	5月			
	6月			
	7月			
	8月			
	9月	川遊び安全マップ作り		
	10月		芥川安全ウォーク	
	11月			
	12月			市民団体向け防災学習会
	1月			
2月				
3月				
スタッフ（人数・役割）	講師（各回テーマに沿った学識経験者など） 協力スタッフ 5名程度（参加者の感染予防対策、安全確認、活動のサポート）	講師（各回テーマに沿った学識経験者など） 協力スタッフ 5名程度（参加者の感染予防対策、安全確認、活動のサポート）	講師（各回テーマに沿った学識経験者など） 協力スタッフ 若干名（参加者の感染予防対策、安全確認、活動のサポート）	講師（各回テーマに沿った学識経験者など） 協力スタッフ 若干名（参加者の感染予防対策、安全確認、活動のサポート）
広報・募集方法	SNSや広報などでの告知	SNSや広報などでの告知	高槻市市民公益活動サポートセンターとの打合せによる	高槻市立小中学校との打合せによる
支援要望事項	講師謝金、スタッフ経費（実費交通費等）、資料印刷、保険加入など	講師謝金、スタッフ経費（実費交通費等）、資料印刷、保険加入など	防災教室資材、資料印刷など	防災教室資材、資料印刷など
水害体験施設の要望				
安全対策	移動時における安全指導、感染予防対策の実施及び周知	移動時における安全指導、感染予防対策の実施及び周知	安全管理、感染予防対策の実施及び周知	移動時における安全指導、感染予防対策の実施及び周知
実施に向けて困っている事・課題				
その他				

出張所	高槻	高槻		
氏名	杉本 真一	杉本 真一		
No.	9	10		
活動名	たかつき防災学習会	高槻ジュニア河川レンジャー		
主たる活動分野	A治水・防災	C河川利用		
活動目的 (1000字程度)	地域を流れる淀川と芥川を考え、防災・自然環境・歴史などをテーマとした学習会等を実施する。特に、小中学校等での防災教育（出前授業）に取組み、防災意識の向上と「自分の命は自分で守る」ということを伝えていく。また、持続可能な防災教育の体系作りに向けた検討を行う。	高槻市内を流れる淀川・芥川の魅力にふれながら、子どもたちが体験活動を通じ河川を知り、自然を守る「ジュニア河川レンジャー」として育成する。「自然観察」「川の安全」「防災」プログラムの充実を図る		
活動内容 (1000字程度)	防災教室（出前授業）河川を知り防災についての知識の向上を図る。	淀川芥川クリーンアップ大作戦		
運営形態	主催	主催		
連携 予 定	市民団体等	芥川・ひとと魚にやさしい川づくりネットワーク、NPO法人ノートなど		
	行政機関	高槻市教育委員会	高槻市	
	学校関係	高槻市立小中学校		
活動予定月（日）	2月	3月		
活動場所(市町村)	高槻市	高槻市		
活動場所	高槻市立小中学校及びその周辺	芥川流域（芥川大橋～次郎四郎橋～津之江公園～城西橋）		
参加対象者	高槻市立小中学校の児童及び生徒	地域の小学校3～6年生、地域の中学校高校の自然科学クラブなど		
定員	対象学年全クラス	15名		
年 間 ス ケ ジ ユ ー ル	4月			
	5月			
	6月			
	7月			
	8月			
	9月			
	10月			
	11月			
	12月		淀川芥川クリーンアップ大作戦実行委員会へ参加	
	1月			
	2月	小学校での防災教室	淀川芥川クリーンアップ大作戦実行委員会へ参加	
	3月		淀川芥川クリーンアップ大作戦	
スタッフ（人数・役割）	講師（各回テーマに沿った学識経験者など） 協力スタッフ 若干名（参加者の感染予防対策、安全確認、活動のサポート）	協力スタッフ 5名程度（参加者の感染予防対策、安全確認、活動のサポート）		
広報・募集方法	高槻市立小中学校との打合せによる	SNSや広報などでの告知		
支援要望事項	防災教室資材、資料印刷など	講師謝金、スタッフ経費（実費交通費等）、資料印刷、保険加入など		
水害体験施設の要望				
安全対策	移動時における安全指導、感染予防対策の実施及び周知	移動時における安全指導、感染予防対策の実施及び周知		
実施に向けて困っている事・課題				
その他				

氏名	竹本 克巳	区分	河川レンジャー（試行期間）	所属	高槻出張所
----	-------	----	---------------	----	-------

1. 活動の目的・目標

1.1 活動の目的

子どもの遊び方が多様化し、水辺で遊びふれあう機会が減少しています。水辺への関心、遊びなどを通して「川の防災教育」をすすめる。
 また、近年の自然災害、特に降雨災害は各地で増加している一方、住民の意識は低く、被害が多発している現状があり「防災」への関心を高めていくことが求められている。
 そのために、子どもたちには、身近な河川での自然体験学習や淀川の歴史を学び関心を高めます。また、高齢者など地域住民には、身近な河川である淀川の歴史を紐解きながら地域防災や河川への理解を深めて行くことなどを目指します。

1.2 活動の目標

段階	目標	活動内容	試行期間	1期		2期	
				1年目	2年目	3年目	4～RA
Step1 地域住民の関心を高める	川とふれあう場を提供しながら自然体験学習などを行い、「川の防災教育」をすすめる。 地域を流れる淀川の歴史、文化などを学び地域住民への防災意識を高める。	「川の防災」のワークショップ開催 淀川の歴史の共有、マップづくり、情報収集及び避難活動、管理施設の見学会 「防災授業」学校での出前授業の開催 淀川の歴史、文化、自然環境、整備の状況観察、マップづくりと安全体験実施	⇒	⇒	⇒		
Step2 河川レンジャーと管理者が協働して取り組む							
Step3 地域住民から行政へ発信する仕組みを構築							

3. 総括

	内容
活動をしていく上での課題	<p>「ワークショップ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題と場所の検討 ・地域との連携、共有 ・地域の対象者の選定をどのようにするか。 <p>「防災授業」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・淀川の歴史を伝承するにあたり、情報収集と方法を探る。 ・屋外での体験学習をすすめるための、場所等の選定についての検討。 ・協力、支援者等との連携手法
課題に対する取り組み	<p>「感染症対策」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策をとった活動方法を検討する。 <p>「川と安全にふれあう場所等の選定」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続して取り組める課題を検討していく。

出張所	高槻			
氏名	竹本 克巳			
No.	1			
活動名	川とのかかわり			
主たる活動分野	A治水・防災			
活動目的 (1000字程度)	地域を流れる淀川とのつながりを深め、地域住民と連携しながら防災意識を高めるとともに歴史、文化などを学び共有する。 川とふれあう場をつくり、自然を体験しながら防災と河川への理解を深める。			
活動内容 (1000字程度)	淀川の歴史、文化、自然環境、地域の状況などの紹介やマイタイムライン、防災マップ作成、管理施設の見学など行う。 堤防の改修やワンドなどの河川敷の整備の必要性、自然環境保全、水辺の安全について現地を歩きながら体験する。			
運営形態	共催			
連携予定	市民団体等	地域の公民館、コミュニティ（共催）		
	行政機関	高槻出張所 高槻市		
	学校関係			
活動予定月（日）	10月(又は11月)			
活動場所(市町村)	高槻市			
活動場所	淀川沿いの地域 淀川三島江堤防及び河川敷切り下げ区域（野草区域）周辺など （雨天の場合、屋内での学習）			
参加対象者	淀川沿いの地域住民、自主防災組織			
定員	未定			
年間スケジュール	4月	関係各所との打合せ、下見及び日程調整		
	5月	会場借用申込		
	6月	広報、チラシの準備		
	7月			
	8月	広報、チラシの作成		
	9月	下見、最終調整（借用物品類、打合せ）		
	10月	実施		
	11月	活動まとめ		
	12月	関係各所へ報告		
	1月			
	2月			
	3月			
スタッフ（人数・役割）	レンジャーとの協力、補助（未定）			
広報・募集方法	地域、団体への呼びかけ チラシ等の作成			
支援要望事項	高槻出張所へ河川敷、堤防整備などの情報提供を依頼			
水害体験施設の要望				
安全対策	緊急時マニュアルを作成、スタッフ間で共有する。 野外での活動は天候に合わせ適宜の休憩等配慮する。 感染症対策を整えたい実施する。			
実施に向けて困っている事・課題	新型コロナウイルス感染症の状況により変更、中止も視野に入れて計画			
その他				

氏名	林 浩平	区分	河川レンジャー（試行期間）	所属	高槻出張所
----	------	----	---------------	----	-------

1. 活動の目的・目標

1.1 活動の目的

<p><まずは島本地区を中心に以下の目的を叶えるべく活動></p> <p>①地域住民と繋がる。 ②より多くの住民に淀川のことを知ってもらい、興味を持ってもらう。 ③地域住民同士を繋げる。自然と繋がる環境を作る。 ④河川レンジャー不在でも、地域住民同士が同志となり、継続した活動が行える仕組みを作る。</p>
--

1.2 活動の目標

段階	目標	活動内容	試行期間	1期		2期	
				1年目	2年目	3年目	4～RA
Step1 地域住民の関心を高める	淀川のおもしろさを増やすこと、地域住民同士を繋げる。	ウォーキングごみ拾い	⇒	⇒	⇒		
		みんなで考えよう！島本地区	⇒	⇒	⇒		
		防災タイムライン作り	⇒	⇒	⇒		
Step2 河川レンジャーと管理者が協働して取り組む		みんなで守ろう！育てよう！！貴重植物			⇒	⇒	⇒
		野犬再生プロジェクト			⇒	⇒	⇒
		復活の兆し！帰って来た？！自然・・・			⇒	⇒	⇒
		マレットゴルフコースを作りたい！！			⇒	⇒	⇒
		自然観察ポイントを作りたい！！			⇒	⇒	⇒
Step3 地域住民から行政へ発信する仕組みを構築							

3. 総括

	内容
活動をしていく上での課題	<p>①地域住民を知る。 ②島本地区を知る。</p>
課題に対する取り組み	<p>① ・島本地区を散策したくさんの方と会話する。 ・運営会議（高槻）にて、すでに繋がっている地域住民の方を紹介してもらう。</p> <p>② ・島本地区を散策し、自然・環境・人を観察してふれあう。 ・これまで学んだ淀川流域について復習する。 ・運営会議（高槻）にて、レンジャーアドバイザーや先輩レンジャーから学習する。</p>

出張所	高槻	高槻	高槻	高槻
氏名	林 浩平	林 浩平	林 浩平	林 浩平
No.	1	2	3	4
活動名	みんなで考えよう！島本地区	ウォーキング ゴミ拾い	防災マイタイムライン作り（リアル）	防災マイタイムライン作り（オンライン（Zoom））
主たる活動分野	C河川利用	D維持管理	A治水・防災	A治水・防災
活動目的 （100字程度）	島本地区での問題・課題をあぶり出し、より利用されやすい島本地区を目指す。	島本地区のゴミを減らす。ウォーキング&ゴミ拾いを通じて、地域住民の更なる繋がりを促進する。	淀川島本地区で洪水が起きたらどうなるか？を知ってもらう。	淀川島本地区で洪水が起きたらどうなるか？を知ってもらう。
活動内容 （100字程度）	島本地区管理所横に仮設テントを張り、島本地区での問題・課題を募集する。アンケート用紙に記入頂く形式とフリートーク形式。	コロナ禍でより一層敬遠しがちなゴミ拾い。しかし、みんなでウォーキングしながら、会話しながら、実施すれば楽しくない?!。もちろんリヤカーを引きながら。	想定マックスの洪水が起きたら、どこまで水に浸かるのか、リアルに感じてもらえる屋外説明と水位印を該当地域の電柱に貼る、説明後に防災マイタイムライン作り。	想定マックスの洪水が起きたら、どこまで水に浸かるのか、リアルに感じてもらえる屋外説明を事前に動画撮影し、その視聴と防災マイタイムライン作り。
運営形態	主催	主催	主催	主催
連携 予 定	市民団体等			
	行政機関			
	学校関係			
活動予定月（日）	7月	10月	2月	2月
活動場所(市町村)	大阪府三島郡島本町	大阪府三島郡島本町	大阪府三島郡島本町	オンライン
活動場所	淀川河川公園島本地区	淀川河川公園島本地区（上牧→島本地区管理所）	淀川河川公園島本地区	オンライン
参加対象者	すべての地域住民	5kmぐらい歩ける方	すべての地域住民	島本地区の地域住民
定員	未定（フリートーク時間を区切る時は参加者10名等人数制限）	未定（協力頂けるレンジャー人数×5名）	未定（協力頂けるレンジャー人数×5名）	
年 間 ス ケ ジ ユ ー ル	4月	下見（テント・机・椅子・備品等設置してみる）	下見（歩く距離・トーク内容）	下見（テント・机・椅子・備品等設置してみる）
	5月	準備（アンケート内容等）	準備（協力者募る・リヤカー・不法投棄大物撤去段取り等）	下見（実際どこまで水に浸るか？動画撮影）
	6月	広報開始（河川レンジャーHPでも意見・問合せ出来るけどさ、みんなで話しよう！）		下見（実際どこまで水に浸るか？動画撮影）
	7月	本番		下見（実際どこまで水に浸るか？動画撮影）
	8月		広報開始（島本町役場・島本地区管理所 掲示）	下見（実際どこまで水に浸るか？動画撮影）
	9月			下見（実際どこまで水に浸るか？動画撮影）
	10月		本番	下見（実際どこまで水に浸るか？動画撮影）
	11月			
	12月			
	1月			広報開始（え?!こんな高さまで水に浸るの!?)
2月			本番	本番
3月				
スタッフ（人数・役割）	島本地区に詳しいレンジャーアドバイザー、受付要員 等々	ゴミ分別判断係、リヤカー引く係、淀川解説係 等々	島本地区の防水・治水に詳しいレンジャーアドバイザー	島本地区の防水・治水に詳しいレンジャーアドバイザー オンラインでのMC・操作に長けた事務局の方
広報・募集方法	募集ポスター掲示（島本町役場・島本地区管理所等）	募集ポスター掲示（島本町役場・島本地区管理所等）	募集ポスター掲示（島本町役場・島本地区管理所等）	募集ポスター掲示（島本町役場・島本地区管理所等）
支援要望事項				
水害体験施設の要望				
安全対策	・熱中症対策	・見通しが効かない繁みには入らない。水辺には近づかない。 ・トゲのある植物、蚊・虻・蜂等虫に注意。 ・ゴミで怪我しないように注意。	・熱中症対策	オンラインのため特になし
実施に向けて困っている事・課題				
その他				

出張所	高槻	高槻	高槻	
氏名	原 健二	原 健二	原 健二	
No.	1	2	3	
活動名	大塚地区公園整備計画のベストな実現に向けた活動	バッタのオリンピック	淀川芥川クリーンアップ大作戦（大塚地区）	
主たる活動分野	C河川利用	B環境保全	D維持管理	
活動目的 (1000字程度)	淀川右岸大塚地区公園整備計画に対して活用面や安全面での課題に対してその具体的な解決にむけ地域住民や行政で構成する課題検討WGで検討を進め公園整備計画のベストな実現に向けて推進する。	河川敷で採集したバッタでその飛距離を競うバッタのオリンピック開催により地域住民に自然へのふれあいの場を提供し、子供たちも含めた多くの世代に河川を含めた自然保護の重要性を再認識してもらうとともに河川公園への意見要望を収集する場として位置づける。	河川公園大塚地区整備計画の中に親水エリアの計画もあり、より水辺に近いところでのクリーンアップ活動により、地域住民に川の状況を知ってもらうとともに親水エリアの有効活用に向け関心を高めてもらう。	
活動内容 (1000字程度)	・1回/2か月の頻度で開催するWGの司会進行と全体マネージメント ①公園へのアクセス改善②親水エリアの創出③迷惑危険行為の撲滅 ④河川公園イベント検討	・当日大塚地区で採集したバッタを使ってその飛距離を競う ・参加者から河川公園を中心とした河川敷の意見要望を収集しWGへ反映	・大塚ワンド周辺を中心とした清掃活動 ・参加者から河川公園を中心とした河川敷の意見要望を収集しWGへ反映	
運営形態	主催	共催	主催	
連携予定	市民団体等	南大冠東地区住民会議、冠コミュニティ協議会	芥川・ひとと魚にやさしい川づくりネットワーク	
	行政機関	高槻市都市創造部	高槻市都市創造部	
	学校関係			
活動予定月(日)	5月、7月、9月、11月、1月、3月実施予定	9/25(日)	3月実施予定	
活動場所(市町村)	高槻市	高槻市	高槻市	
活動場所	淀川河川公園大塚地区、高槻市冠コミュニティセンター	淀川河川公園大塚地区	淀川河川敷大塚地区	
参加対象者	地域住民、淀川河川事務所、高槻市で構成されるWGメンバー	小学生以下(保護者同伴)	地域住民(小学生以下は大人同伴)	
定員	一般参加者はないので定員の設定はなし	40名	50名	
年間スケジュール	4月			
	5月	第38回河川公園大塚地区公園整備計画課題検討WGの開催		
	6月			
	7月	第39回河川公園大塚地区公園整備計画課題検討WGの開催	事前準備(関連部門との打ち合わせ)	
	8月		事前準備(参加者募集etc.)	
	9月	第40回河川公園大塚地区公園整備計画課題検討WGの開催	バッタのオリンピック開催 9/25(日) 予定	
	10月			
	11月	第41回河川公園大塚地区公園整備計画課題検討WGの開催		
	12月			第1回実行委員会出席
	1月	第42回河川公園大塚地区公園整備計画課題検討WGの開催		第2回実行委員会出席、事前準備(案内発信etc.)
	2月			第18回淀川芥川クリーンアップ大作戦(大塚地区)、活動まとめ
	3月	第43回河川公園大塚地区公園整備計画課題検討WGの開催		
スタッフ(人数・役割)	スタッフはなし	・バッタの専門家1名(バッタの同定含めた指導全般) ・サポートスタッフ6名(受付、距離測定係、写真係、救護係etc.)	・サポートスタッフ5名(受付、写真係、ゴミ集積場所担当、安全監視、救護係etc.)	
広報・募集方法	地域代表含めたWGメンバーでの検討会であり一般募集はなし	・高槻市広報誌に掲載 ・河川レンジャーホームページでの案内 ・地元自治会、地元小学校への案内 ・公園利用者へのチラシ配布	・高槻市広報誌に掲載 ・河川レンジャーホームページでの案内 ・地元自治会への案内	
支援要望事項	・WG検討会のための資料提供(淀川河川事務所、高槻市等) ・配布資料の印刷	・必要物品(テント、机、椅子、拡声器など)貸与 ・配布資料の印刷	・ゴミ収集対応とゴミはさみ貸与(高槻出張所) ・必要物品(テント、机、椅子、拡声器など)貸与 ・配布資料の印刷	
水害体験施設の要望				
安全対策	・WG資料作成のための大塚地区巡回に関して 水辺は蛇等の危険もあり長靴や長袖、長ズボンの着用徹底 複数人での巡回を基本とする(1人で実施する時は行動予定の連絡徹底) ・新型コロナ感染防止対策の徹底	・バッタ採集時に草むらに入るので参加者への長袖長ズボン着用の徹底 ・事前調査による立ち入り禁止場所の明確化と当日の参加者への徹底 ・この時期まだ日差しが強いので熱中症対策の参加者への徹底 ・新型コロナ感染防止対策の徹底	・清掃場所の事前確認による危険場所の明示 ・安全担当スタッフの配置 ・新型コロナ感染防止対策の徹底	
実施に向けて困っている事・課題	・大塚ワンドの活用含めた大塚地区魅力発見プロジェクトに向けたイベント検討のための若手メンバーの参画	・公園内の草丈含めた状態確認により安全にバッタ採集できる場所の選定 ・公民館の環境学習としての情報提供	・水辺に近いところで安全に活動をできる場所の選定(大塚ワンドを検討) ・子供たちの参加増への取り組み	
その他			・集積ゴミの早期回収	

連携活動

出張所		高槻	高槻		
氏名		杉本真一			
ジ レ ン ヤ ン	1氏名・役割	杉本真一：統括、摂津市との調整、学生団体への参画呼びかけと調整	杉本真一：統括、摂津市との調整、学生団体への参画呼びかけと調整		
	2氏名・役割	原 健二：企画、保全活動の指導、安全管理	原 健二：企画、保全活動の指導、安全管理		
	3氏名・役割	伊藤 茂：摂津市との調整、水質調査企画、生き物調査企画・とりまとめ	伊藤 茂：摂津市との調整、水質調査企画、生き物調査企画・とりまとめ		
No.		1	2		
活動名		鳥飼ワンド大作戦	鳥飼ワンド大作戦		
主たる活動分野		B環境保全	B環境保全		
連携理由欄		高槻出張所管内の課題である「鳥飼ワンド」の特定外来種駆除をより多面的に行うために、複数名のレンジャーとの連携が不可欠であると考え。また、活動により摂津市の市民団体等との連携や新規レンジャー発掘につながればと考えている	高槻出張所管内の課題である「鳥飼ワンド」の特定外来種駆除をより多面的に行うために、複数名のレンジャーとの連携が不可欠であると考え。また、活動により摂津市の市民団体等との連携や新規レンジャー発掘につながればと考えている		
活動目的 (100字程度)		琵琶湖から淀川流域で繁茂している特定外来種の現状を知り、外来水草の根絶を目指す。また、駆除活動を通じ、地域住民や市民団体などと連携しながら、持続可能な保全活動とワンドの活用法を考える。	琵琶湖から淀川流域で繁茂している特定外来種の現状を知り、外来水草の根絶を目指す。また、駆除活動を通じ、地域住民や市民団体などと連携しながら、持続可能な保全活動とワンドの活用法を考える。		
活動内容 (100字程度)		特定外来種オオバナミズキンバイ、ナガエツルノゲイトウ等を駆除し、持続可能な体制づくりを推進する	特定外来種オオバナミズキンバイ、ナガエツルノゲイトウ等を駆除し、持続可能な体制づくりを推進する		
運営形態		主催	主催		
連 携 予 定	市民団体等	建設技術研究所、学生団体IVUSA大阪高槻クラブなど	建設技術研究所、学生団体IVUSA大阪高槻クラブなど		
	行政機関				
	学校関係				
活動予定月(日)		5月(開花、繁茂前に適した時期である)	11月(活動しやすい時期であるため)		
活動場所(市町村)		摂津市	摂津市		
活動場所		淀川河川公園鳥飼地区(鳥飼ワンド)	淀川河川公園鳥飼地区(鳥飼ワンド)		
参加対象者		市民、市民団体、学生団体など	市民、市民団体、学生団体など		
定員		20名	20名		
年 間 ス ケ ジ ュ ー ル	4月	関係機関との調整、打合せ、事前準備(現地見)			
	5月	駆除活動(春季)の実施			
	6月				
	7月				
	8月				
	9月				
	10月		関係機関との調整、事前準備(現地見)		
	11月		駆除活動(秋季)の実施		
	12月				
	1月				
	2月				
	3月				
スタッフ(人数・役割)		毛馬・高槻管内河川レンジャー、高槻管内河川レンジャーアドバイザー	毛馬・高槻管内河川レンジャー、高槻管内河川レンジャーアドバイザー		
広報・募集方法		関係機関やSNSでの告知	関係機関やSNSでの告知		
支援要望事項		水生生物調査講師を希望(河合典彦氏)、 駆除用資材、駆除した外来種の処理	水生生物調査講師を希望(河合典彦氏)、 駆除用資材、駆除した外来種の処理		
水害体験施設の要望					
安全対策		ワンドの安全指導(監視)	ワンドの安全指導(監視)		
実施に向けて困っている事・課題		摂津市との連携体制の構築、住民を巻き込んだ活動の推進	摂津市との連携体制の構築、住民を巻き込んだ活動の推進		
その他		令和3年度は試行として駆除作業を実施。令和4年度は淀川わいわいがやがやまつりとの交流を考えたい。協力体制を構築していく	令和3年度は試行として駆除作業を実施。令和4年度は淀川わいわいがやがやまつりとの交流を考えたい。協力体制を構築していく		